

血液化学検査機器 **IDEXX カタリストOne** **(Catalyst One* Chemistry Analyzer)** 希釈測定手順

希釈が必要な検査

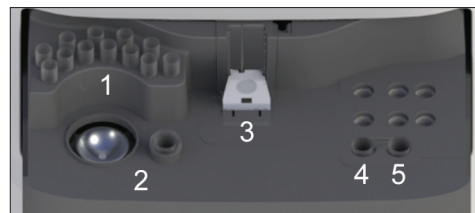
希釈は検査値が測定範囲を超えた場合、あるいは検体が非直線性や無効な結果をもたらす干渉物質（例：薬物）を含む場合に実施する必要があります。IDEXX カタリストOne*は自動希釈（機器が検体と希釈液を混合）および手動希釈（ユーザーが機器外で希釈）に対応しています。

重要：電解質、NH3、UPC、トータルT₄(血清総サイロキシン)、FRU、SDMA、TBAの検査を実施する場合は、検体を希釈しないでください。

自動希釈のセット手順

希釈を促すメッセージが表示された場合、以下の手順で希釈を行います。

1. カタリスト ピペットチップをセットします。
2. 検体をセットします。
3. スライドをセットします。
4. 空のカタリストサンプルカップ(以下、サンプルカップ)を、左の希釈用カップホルダーにセットします。
5. サンプルカップに希釈液（生理食塩水0.9%）を300 μ L入れ、右の希釈用カップホルダーにセットします。

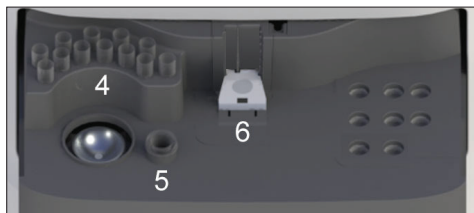


注意：希釈が必要なスライドのみをセットしてください。クリップ全体をセットしないでください。

手動希釈のセット手順【2倍希釈検体を調製する場合】

1. 希釈する検体量を正確に計り、サンプルカップに静かに分注します。次に、同量の希釈液（生理食塩水0.9%）を正確に計り、上記の検体に分注します。
2. 検体と希釈液をしっかりと混合し、混合した検体に気泡が残らないようにします。
3. IDEXX ベットラボ ステーション (IDEXX VetLab* Station) に患者情報を入力します。
4. カタリスト ピペットチップをセットします。
5. 希釈済み検体をセットします。
6. スライドをセットします。

注意：希釈が必要なスライドのみをセットしてください。クリップ全体をセットしないでください。



手動希釈

液量は参考例です。混合した検体をサンプルカップの目盛り300 μ Lまで入れます。
検体比率 + 希釈液比率 = 比率合計 (希釈倍率)

検体比率	希釈液比率	比率合計 (希釈倍率)
1 (100 μ L)	0	1 (希釈なし)
1 (100 μ L)	1 (100 μ L)	2
1 (100 μ L)	2 (200 μ L)	3
1 (100 μ L)	3 (300 μ L)	4
1 (100 μ L)	4 (400 μ L)	5
1 (100 μ L)	5 (500 μ L)	6
1 (100 μ L)	6 (600 μ L)	7
1 (100 μ L)	7 (700 μ L)	8
1 (100 μ L)	8 (800 μ L)	9
1 (100 μ L)	9 (900 μ L)	10